

目的

介護助手という働き方を広く認知・理解させ、介護助手の就労希望者を開拓する。これを通じ、施設が介護助手に取組むよう意識変容を目指す。

（背景）これまで施設向けの啓発にとどまっていたが、施設での取組みはなかなか進まなかったように思われた。まず、県民へアプローチすることで、潜在層を浮かび上がらせ、就労に繋げるという実績が必要であるとの考えに至った。

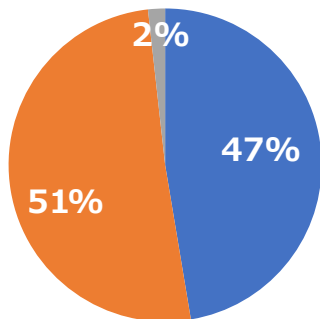
成果・効果

(R8.3時点)

①研修参加者の**98%** (N=57) が、介護助手への理解を深めたと回答！

介護助手の理解

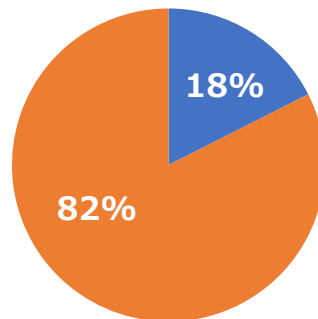
■とても深まった ■すこし深まった ■あまり深まらなかった



②さらに**100%** (N=57) が、介護助手として働きたいと回答！

就労意欲の醸成

■とても働きたい ■機会があれば働きたい



特徴と内容

- ・R6年度末実施の県内6カ所で住民向け研修を実施。介護助手の説明に加え、地域の施設からも実践事例を紹介してもらっている。そのため、就労に興味のある参加者は、研修後に直接面談できる。
- ・新聞折込チラシの広報のほか、無料の市町行政の広報誌を活用しつつ、広く住民に情報を届けることができている。

成果（アウトカム）

参加者の意識変容が確認でき、研修内容が適切であったことを示唆！
研修実施により、顕在化できた！

事業改善(就労希望者)

介護助手希望者を、研修後にフォローするスキーム構築を目指す。

事業改善(求人事業所)

地域によって受入施設が無いエリアもあるため、受入先の拡大を目指す。

